

戦争と平和について

喜多小学校 6年 仲村 七海

私にとって平和とは、  
どういう事か分かり  
ませんでした。

なぜなら、毎日学校に行けて、  
友達と遊べて、  
おいしい物を食べれて、  
好きな物や洋服  
も買えて、クレープがあつて、  
お呂も入れて  
気持ちよくねれる事が  
あたり前の日常生活だ  
からです。

しかし、平和学習で戦争について学んで、  
このふつうの日常生活が  
とても平和だつたと  
いう事に気がつきました。  
戦争が終わつて75  
年たつと聞きました。  
当日小学校低学年だつ  
た方が、あの時の戦争の  
おろしさを語り、  
くわていたが、私は  
とてもつらい事だと思  
います。目の前で親や  
兄弟、友達がころされ  
ていく人の死体をはだ  
しでふんにけ回るおそ  
しい体检を75年もおつ  
て、忘れられずに生き  
てこられた方が私達に  
語り、てくれる事は、  
戦争は二度とおこして  
ほしくないという強い  
願

いだという事を感じました。

私は、この平和学習でいろんな事を感じました。その中でもやはり、戦争は二度とおこしてはいけなし、語ってくれた話を忘れないうで慰霊の日には戦争でなくなつた方達のことを思つて手を合わせる。そして、毎日平和だという事に感謝して、自分の命や人の命、生き物の命を大切にする。

そして、沖縄戦を世界中の人達に知つてもらい、二度と戦争をおこさないために私にできる事を考えていきたいと思います。